


















「経会陰前立腺生検（入院）パス」

病棟 号室

様

* 患者さんには、クリニカルパスに基づいた医療を行います

説明年月日： 年 月

月 日		手術当日（ 月 日）		月 日
イベント	入院日・施術前日	生検前	生検後	施術後 1 日目：退院日
食事	普通食 食事：() 時中止 水分：() 時中止	 	手術から帰宅 4 時間後に腸の動きや排ガスを確認し、水分摂取可能となります。検査時間によっては夕食から摂取できます	
内服薬	・持参薬の確認をします ・医師の指示に従ってください	麻酔科医の指示に従い内服してください		・医師の指示に従い 内服を再開してください 
清潔	・入浴またはシャワー浴	入浴・シャワー浴はできません 		・シャワー浴可
検査 処置 治療 (点滴)		<ul style="list-style-type: none"> ★ 検温、体調確認をします ★ 弾性ストッキングを履き、着替えます  	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスク、心電図モニターをつけます ・尿の管が入っています ・弾性ストッキングを外し、皮膚の観察を行います 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行を確認後に尿の管を抜き、尿が出るか確認します ・心電図モニターを外します
術後経過	・活動に制限はありません 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴を開始します 点滴をしながら、看護師と一緒に手術室にいきます ★ 出発前に声を掛けますので、排尿を済ませてください  	<ul style="list-style-type: none"> ・水分補給と抗菌薬の点滴があります  ・ベッド上安静です ・寝返りはできません ★ 痛みや吐き気で辛いときは、ナースコールでお知らせください ★ 長時間のベッド上安静や、激しい痛み、排泄時にいきむ事で迷走神経系が刺激され、めまい、冷や汗、歩行時の ふらつきなどの症状が出る事があります。症状がある時は、歩き始める前にナースコールで知らせてください  	<ul style="list-style-type: none"> ★ 点滴は終了です ★ 点滴終了後はたくさんの水分をとってください (1500~2000ml)  ★ 初めて歩くときは看護師と一緒に歩きます ・その後活動に制限はありません ・手術後の回復を早めるために、動くことや歩くことは大切です 
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・入院・手術説明をします ・同意書の提出をお願いします。 ・患者識別バンドをつけます ・麻酔科医師が診察と説明をします  	<p>【術前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 入れ歯、補聴器、メガネ、コンタクトレンズ、湿布、ピアス、ネックレス、指輪、時計などは外してください ★ 化粧をしないで下さい。 ★ ぐらぐらする歯や刺青がある場合は相談してください * 金庫の鍵は看護師に預けてください <p>【血栓予防】</p> <p>長時間同じ姿勢でいることで、循環が悪くなり血管内に血栓（血の塊）を作ることがあります。その塊が歩いて動いたときに肺や脳の血管に詰まってしまうことがあります。</p> <p>それを予防するために、弾性ストッキングを履き、手術後は足をマッサージする機械（フットポンプ）をつけます。翌日、歩くことができれば外します</p>	<p>【手術後・退院後の注意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生検後、尿に血が混ざることがあります。1~2週間は、水分を多くとってください ・精液や便に血液が混ざりますが、自然に改善します ・退院後、1週間程度は激しい運動や過度の飲酒は控えてください ・自転車やバイクに乗ることも控えてください    	<ul style="list-style-type: none"> ★ 退院後の外来受診日は予約日を確認し、受診をしてください 【次回受診までに…】 ・38度以上の熱が続く ・尿が出にくい時 上記のようなことがあれば、当院へ、電話相談をしてください 

* 患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。経過についてはその都度、個別に説明いたします